

## 子宮頸がん (HPV) ワクチン被害の早期解決を！

### 「第18回薬害根絶デー」の取り組みに参加！



「誓いの碑」の前で加藤厚生労働大臣に要請書を手渡す

8月24日、薬害の再発防止と被害者の救済を求める「第18回薬害根絶デー」が取り組まれ、厚労省前の集会には全国から薬害被害者を始め200名近い人々が集まり、JR総連も参加した。

4地裁（東京・名古屋・大阪・福岡）で係争中の子宮頸がん(HPV)ワクチン訴訟（原告は全国で125名）の早期解決や医薬品行政を監視・評価する第三者組織の創設などを訴えた。

8月23日には「前日集会」が開催され、当日開かれたHPVワクチン薬害東京訴訟第3回期日の報告があった。また、実行委員会から「過去の薬害から学ぶ」と題する学生からの活動報告と薬害肝炎原告団・弁護団から「薬害を防止するための第三者組織の設立に向けて」との問題提起があった。

1999年8月24日、厚生省（当時）は薬害防止に最善の努力を重ねていくことを約束し、「誓いの碑」を敷地内に建立した。全国薬害被害者団体連絡協議会（薬被連）は、この日を「薬害根絶デー」とし、毎年、国との交渉を続けている。

JR総連は被害者や支援者と連帯し、薬害根絶に向けてたたかっていく。

#### 誓いの碑

命の尊さを心に刻みサリドマイド、スモン、HIV感染のような医薬品による悲惨な被害を再び発生させることのないよう医薬品の安全性・有効性の確保に最善の努力を重ねていくことをここに銘記する

千数百名もの感染者を出した  
「薬害エイズ」事件  
このような事件の発生を反省し  
この碑を建立した

平成11年8月 厚生省



8月23日の前日集会、学生（実行委）からの活動報告



厚労省前のリレートークに200名近い人々が集まった

